

緊急性のない消化器内視鏡検査の延期に関するお知らせ

日本国内における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、院内での感染拡大防止対策が必須な状況となっております。報道などで伝えられているように、院内感染は病院の診療機能を大きく損ない、結果として患者様のがん治療に大きなマイナスをもたらします。

一方、消化器内視鏡検査は検査に関わるスタッフへの感染の危険の大きな医療処置とされています。そのため日本消化器内視鏡学会より、緊急度の低い内視鏡検査の実施は中止または延期するようとの通達が出ています。

<https://www.jges.net/medical/covid-19-proposal>

新型コロナウイルス患者との接触が疑われる方や風邪症状・発熱症状のある方だけでなく、このような条件に該当しない無症状の方からのウイルス感染の報告も相次いでいるため、少なくとも新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言の期間中は緊急性のない消化器内視鏡診療の延期・中止が強く勧告されています。このことは、個人防護服の節約のためにも極めて重要なこととされています。

これに従い、当院では以下に該当する内視鏡検査につきまして、少なくとも新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が発出されている期間中は控えることと致します。

1, 市町村検診および人間ドック等にて、便潜血反応陽性(大腸がん検診)、胃バリウム検査(胃がん検診)など、がん検診結果に異常が認められたことにより二次検診としての内視鏡検査を希望される方。

＊ご予約済みの患者様につきましては、検査の延期をお願いする場合があります。

＊なお、診療所や病医院からの紹介状を持参の方は、お問い合わせの上、対応を検討致しますが、医師の判断ですぐに検査を実施できない場合があります。

2. 当院での消化器疾患の手術後や内視鏡治療後の経過観察目的の内視鏡検査。

＊食事摂取や体調に不具合をお感じの方については、個別の対応となりますので主治医にお問い合わせ下さい。

以上、地域のがん診療機能を維持していくために、ご理解ご協力をお願い致します。

埼玉県立がんセンター